

第2回 関西放送機器展

Kansai Broadcasting Equipment Exhibition

2017年6月28日(木)・29日(金)の二日間、大阪南港 ATC ホール(大阪市住之江区南港北2-1-10)において、「関西の放送・映像・通信・コンテンツ制作関連に携わる方々を対象としたプロフェッショナル・業務用機器・関連サービスなどの総合展示会」として「第2回 関西放送機器展 Kansai Broadcasting Equipment Exhibition」が行われた。

また、基調講演「地上ローカル局を巡る環境変化と今後の展望」(総務省 情報流通行政局 地上放送課長 藤田 清太郎氏)、特別講演「『全方位進化』ア دبي映像制作ツール」(ア دبيシステムズ 株式会社)マーケティング本部 Creatice Cloud エンタープライズ部 マーケティングマネージャー 古田正剛氏)が6月28日に行われ、6月29日には特別講演①「JOCNの取り組み～放送局による動画配信CDN事業～」(JOCN 株式会社) 取締役 福田 一則氏、取締役 上村 明氏)、②「熊本地震と放送～被災状況と放送継続に向けた取り組み～」(株式会社テレビ熊本 技術局長兼メディア開発部長兼CM部長 赤尾 勝久氏)、③「防災とデータビジュアライゼーション」(NHK メディアテクノロジー 放送技術本部 映像ポスプロ部 齋藤 丈士氏)が行われたほか、5社によるセミナーが行われた。

本年で第2回目の開催となった同展は、梅雨時の合間における開催とあって、初日の28日は雨のち晴れ、二日目の29日は曇り時々雨の天候という気まぐれな天候であったが、第2回目の開催という面を鑑みれば、昨年を越える出展社と来場者が訪れた同展は、来年度以降もさらなる規模の拡大が望める開催内容であったと思われる。

~~~~~

主催：関西放送機器展実行委員会(構成：アジア太平洋トレードセンター、テレビ大阪、テレビ大阪エクスプロ)

後援：総務省 近畿総合通信局、経済産業省 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、IPDC フォーラム、(一社)衛星放送協会、NPO 法人映像産業振興機構、(一社)映像情報メディア学会、(一社)カメラ映像機器工業会、関西映像プロダクション協会、関西舞台テレビテクノ&アート協同組合、全国舞台テレビ照明事業協同組合、(一社)全日本テレビ番組製作社連盟、(一財)デジタルコンテンツ協会、(一社)デジタルメディア協会、(一財)電波技術協会、日本映画テレビ照明協会協同組合、日本映画・テレビ編集協会協同組合 日本映画・テレビ録音協会、日本映像機材レンタル協会、(一社)日本映像ソフト協会、(一社)日本オーディオ協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、(一社)日本CATV 技術協会、(一社)日本動画協会、日本舞台音響事業協同組合、(一社)放送サービス高度化推進協会、マルチスクリーン型放送研究会

出展社数：96社

来場者：3,492人(二日間合計)



セミナー会場の様子



カメラステージ



NHK メディアテクノロジー  
「新ステージの幕開け 4K・8K 展示」



## スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト

VISTA シリーズの最新作「VISTA 1 Compact」とコンパクトなデスクモジュール「OnAir1500」を展示紹介。

「VISTA 1 Compact」は単体筐体内にコントロールサーフェイス、入出力コネクタDSPと従来分離されていた要素が一体化され、「コンパクト」の名の通りVISTAシリーズの中で最も小型化、軽量化されている。

VISTA1は回線数がある程度決まっているニュースルーム等のシステムや、コンパクト性を最大限に利用した中継卓、可搬卓としても最適な選択肢であり、処理能力と入出力を限定した事により、価格面でも劇的なダウンサイジングを実現している。

主な仕様は以下のとおり。

- フェーダー数 : 22 or 32 フェーダー
- 音声入出力数 (デスク背面に装備)
  - 32ch マイク/ライン入力
  - 32ch アナログライン出力
  - 8AES/EBU 入出力 (mono 16ch I/O)
  - MADI 入出力 : 最大64ch MADI I/O 単位
  - GPIO : 8GPIO

D21m 音声入出力ボード用 2 スロット 標準装備

\* 音声入出力ボードはオプション

- バス数 : ニーズに合わせ設定

主なバス : Master (mono/Stereo/5.1)

Group (mono/Stereo/5.1)

AUX (mono/Stereo)

N-x (mono/Stereo)

Multi Track Bus (mono)

- モニター系統 : CR モニター x1 5.1 まで

対応(副調整室モニター)

STUDIO モニター x2 (A&B)

PFLx1

- デスク寸法 :

22Fader : W1145xD738 xH281mm

32Fader : W1490xD738 xH281mm



《OnAir1500》

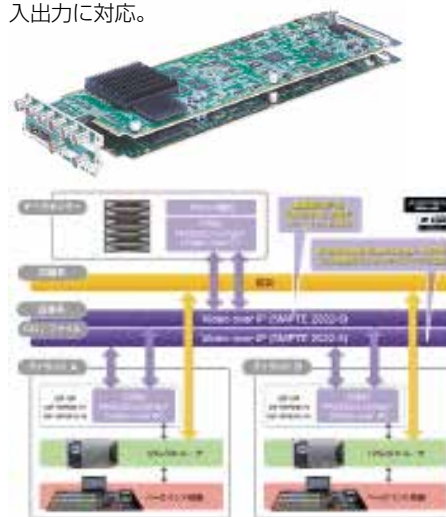
本体NANO SCore とはCAT5 ケーブル各1本で接続。ラジオスタジオだけではなく、ダビング室、録音室小型中継可搬卓としても最適。OnAir3000と同じソフトウェアを採用している。

フェーダー数は12 フェーダー(メインフェーダーモジュール + Ext フェーダーモジュール)と6 フェーダー(メインフェーダーモジュール)の2モデルがあり、同モデルの本体である「Nano SCore」の前面には副調整室H.P 出力やバックアップ用USB 差込口がある。また背面に音声入出力(XLR) & 制御用コネクタ(D-sub) が並び、アナログ卓感覚で配線接続が可能。さらにD21m I/O ボードが2 スロット分を挿入する事ができ入出力の増設も可能となっている。

## 朋 栄

本年のNAB SHOWでも注目された12G-SDI、IP、HDR、広色域の技術に対応した新製品をはじめ、ビデオスイッチャ、テロップ関連など、多彩な新製品を紹介。出展製品は以下の通り。

■10GbE IP ゲートウェイ「USF-10 IP シリーズ」: IP 方式間、IP/SDI 間の変換を実現するIPゲートウェイ。ユニバーサルシステムフレームUSF-212S/105Sに実装可能なVideo over IP 対応モジュール。10GbE(SFP+)ポートを2系統搭載し、入力データをIP方式間やIP/SDI間に変換。4K(2SI/SQD)およびマルチフォーマットの入出力に対応。



■4K 信号発生器「ESG-4100」: 独立した2系統(SG1, SG2)の4K(12G-SDIと3G-SDI)およびHD信号は個別設定が可能。SQD/2SIの各信号と、3840 x 2160p/4096 x 2160pいずれの解像度の組み合わせでも出力可能(12Gモードは2SIのみ)。信号発生部は標準で1系統、オプションにより2系統に拡張可能。COLORBAR、RAMP、STEP、WHITE、BLACK、PATHOLOGICAL、CROSS、MULTIBURST、NOISEなどの標準テストパターンのほかに、PCなどで作成したフレームテストパターンも10種類まで登録可能。4KテストパターンはITU-R BT.2020、ITU-R BT.709から選択可能。



■8K リニアマトリクス色域変換装置「LMCC-8000」: ITU-R BT.709 とITU-R BT.2020の色域相互変換が可能(最大8種類の色域変換式を登録可能)。SDRとHDRのダイナミックレンジ変換が可能(最大8種類の伝達関数EOTF、OETFを登録可能)。BT.2100準拠のOOTFを考慮したPQとHLG変換が可能(最大4種類のOOTFを登録可能)。3G-SDI x 8本の8K-DG(デュアルグリーン)信号と



3G-SDI x 16本の8K YCbCr 4:2:2(フルスペック8K)信号に対応。8K-DG信号は、変換後に2分配出力(バイパス出力は1系統のみ対応)。4K信号は4系統の同時変換が可能(バイパス出力対応)。



※ 日本放送協会との共同開発製品。



## 第2回 関西放送機器展

### エーティコミュニケーションズ

同社では、衛星通信機器の輸入販売から音響、映像、放送機器の輸入販売、また、放送中継車の設計・製造およびコンサルタント、スタジオ設備（サブ、マスター、編集室など）、映像・音響システムの設計・製作から通信衛星送受信サービス、通信機器レンタルなどの業務を行っている。本展では、ABC 朝日放送に納入したSWE-DISHの小型軽量衛星アンテナ「CCT-120 ドライブアウェイ」を搭載したトヨタハイエースの伝送車を実車展示したほか、中京テレビに納入した「SR4 ランクルSNG 車」や「報道指揮車」、消防庁に納入した衛星車載局車などもパネル展示にて紹介した。

また、製品の単体展示では、サットキューブ社製の超小型衛星端末「Satcube Ka/Ku」をはじめ、超小型可搬衛星通信装置「ManPack」、ポータブルアンテナ「QCT90」などを出品した。実車展示したトヨタハイエースに搭載している「CCT120 ドライブアウェイ」は、車両側には特別なルーフ構造を必要とせずに車種を問わず設置できる。特徴は、堅固な構造であるにもかかわらず軽量コンパクトで、全ての主要な機能はカウル内に装備されているので、車内への配線が容易。簡単に、優雅に、かつ敏速に、遠

隔地からの伝送が可能となる。

また、超小型可搬衛星通信装置「ManPack」は、直径わずか60cmの折りたたみ式フリップ型アンテナ、GPS、磁気センサー、ビーコン受信機、電子傾斜計、モデムなどで構成されているが、総重量は12kgと超軽量なため、搬入設置等が一人で容易に行える製品である。

また、同展初お目見えとなった「Satcube Ku」は、高スループットサテライト上での高速データ通信のための使いやすい重量わずか7Kgの軽量端末である。直感的なユーザーインターフェイスにて、わずか1分で衛星への接続が可能。ラップトップ、カメラ、スマートフォ



「Satcube Ku」



▲小型可搬衛星通信装置「CCT120」と、同製品を搭載したトヨタハイエース▲



超小型可搬衛星通信装置「ManPack」



小型可搬衛星通信装置「QCT90」

ン、またはタブレットからケーブルを接続するか、Wi-Fiを使用する。iDirectまたはUHPネットワークモデム、Wi-Fi、フラットアンテナ、アンプ（高効率GaN SSPA）、測位システム、アップコンバータ、ダウンコンバータ、ヒートパイプ冷却システム、および必要なすべてのユーザーインターフェイス（グラフィックと接続）を1つのコンパクトなパッケージにまとめた製品である。

### タックシステム

本展ではADDER デジタルKVMシステム、FastNASデジタルメディアワークフローサーバ、Decimator Design HD-SDIミニコンバータ、マルチビューワーなどをブースにて紹介したほか、iZotope RX6セミナーも開催した。

本展にてメインで紹介を行ったADDER社は、複雑化するKVMシステムに安定した延長、切り替え、マトリクス等の機器を提供している英国のメーカーで、ADDER社の製品は、その信頼性の高さによって英国BBCの



ALIF-1002 シリーズ

設備にも採用されている。特に「Adder Link Infinity システム」はIPベースで複雑なKVMマトリクスを可能とする新しいKVM over IPシステムとして注目を集めている。ADDER社のフラグシップモデルであるシステムは、Full DVI-D(1920x1080@60Hz)、Full Speed USB2.0、Audio (3.5φ Stereo Jack)、RS232 (COMポート)をIP (インターネット・プロトコル)つまりLAN回線に乗せて送受信する最も先進的なリモート・ネットワークシステムで、IP伝送を用いることによって従来のKVMシステムとは全く異なり、延長、切り替えといったマトリクス機能をIPアドレス管理によって実現する非常にフレキシブルで安定したシステム。

このシステムは一般のIPプロトコルに則っており、そのルールさえ守れば伝送距離も接続も自由自在、スタジオ間接続はもとより異なるファシリティー間、果ては世界中どこからでも接続を可能にする多くの可能性を含んだシステムであるとのこと。

### Avid

Avid Everywhere のビジョンのもと、今年のNAB Showにて発表した新しい「Artist | DNxIQ」や「Avid NEXIS」を中心に紹介。「Artist | DNxIQ」は、視聴者が喜ぶ素晴らしいコンテンツを届けるために欠かせ

ない充実したメディア・サポート、フォーマットの柔軟性と

スピードを提供するパワフルなビデオ・インターフェイス。SD、HD、2K、UHD、4K コンテンツを簡単にキャプチャ、モニター、出力することができる。

また、Thunderbolt 3 とPCIe 3 のサポートにより、スピード、ピクセル数、再生オプションが増えており、絶えず変化する視聴者のコンテンツに対する要求に効率的かつ容易に対応し、幅広いチャンネルやデバイスへ届けるために必要な柔軟性も提供する。さらに、Avid DNxHR® へのエンコーディング機能搭載により、大規模な4K ファイルも容易に編集可能。また、ユニバーサル・マスタリング機能の追加により、出力、再生時に、フォーマットおよびフレームレートのリアルタイム変換を実現する。

また、Media Composer、Pro Tools、Blackmagic Design Da Vinci Resolve、Apple Final Cut Pro X、Adobe Premiere Pro CC 等との互換性があり、既存のワークフローにスムーズに追加する機能を設けているほか、フロントパネルのHD液晶ディスプレイで、ビデオのインジェスト、出力をモニターできる。



## オタリテック

本年のNABショーで発表したLAWO社の新しいフラッグシップ・コンソール『mc²96』をはじめ、RIEDEL社の最新ワイヤレス・インカム・ソリューション『Bolero』、OTARI『LWB』、米国Point Source Audio(PSA)社の『EMBRACE™』などを展示紹介。

■オールイン・ワン・コンソール『LAWO mc²96』:直感的なチャンネル識別を可能にする『LiveView™』ビデオ・サムネイル、ネットワーク・ゲイン補正『IP-Share™』、ミックス・アシスト機能など多くの新機能を搭載し、『mc²』シリーズ史上最も先進的なミキシング・コンソール。

『mc²96』によって『mc²』シリーズ・コンソールはその可能性を高め、放送・劇場・録音のどの分野においても優れた音声制作ツール。SMPTE2110をネイティブ・サポートすることによって『mc²96』はIPビデオ制作環境用に最適化された性能を提供する。

チャンネル番号や個々のテキスト・ラベルや静的なアイコンによる標準的なチャンネル・ラベル表示に加えて、『mc²96』はさらに直感的なチャンネル識別を可能にする『LiveView™』ビデオ・サムネイルも備える。フェーダーに触れるだけで『LiveView™』サムネイルがフルスクリーン・モードに変わってカメラや再生機等のそのチャンネルのビデオ・ソースの詳細なビューを提供する。

『mc²96』コンソールは単なるスタンドアローンのソリューションではなく、IP(SMPTE2110, RAVENNA/AES67,

DANTE)あるいはMADIを介する複雑な制作インフラ内でのネットワーク用に新たに設計されている。共有した『DALLIS』入出力を用いる際、個々のユーザーがそれぞれ自分のゲイン設定を調節しているときに、8台までのネットワーク接続したコンソールで予想外のゲイン変化が生じることをLAWO独自のネットワーク・ゲイン補正機能『IP-Share™』が防止する。

『DALLIS』入出力ネットワーク接続した全コンソールと通信し、そのユニークな『IP-Share™』アルゴリズムがマルチクライアント要求に合わせて最適アナログ・ゲインを設定。さらに、『IP-Share™』はプリアンプのアナログ・ゲインが調節されているときに対応するゲイン補正が全コンソールのデジタル・ゲイン・ステージに確実に適用されるようにする。

■最新ワイヤレス・インカム・ソリューション RIEDEL『Bolero』:ライセンスフリーの1.9GHz帯を利用する拡張可能なDECTベースのフルローミング・インカム・システム。RIEDEL『Artist』デジタル・マトリクス・インカム・プラットフォームと完全に一体化される『Bolero』は、優れたワイヤレス・ベルトバックとしてまたワイヤレス・キーパネルとして、そして業界初でウォークトーカー無線機としての3通りの使い方を実現できる豊富な機能と接続能力を備えている。AES67規格準拠のIPネットワーク上で動作し、分散型アンテナがAES67スイッチに次いでAES67クライ

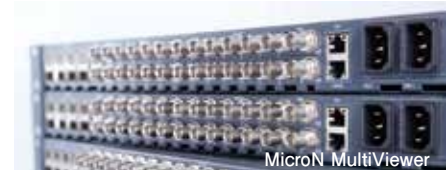


アント・カード搭載の『Artist』フレームにつながって、シームレスなローミング能力を持つ一体型の1対1インカム・システムとなる。システムにとってベルトバックはRIEDEL製のパネルのように見えるがそれはワイヤレスであり、柔軟にシステムを構築することが可能になっている。

明瞭度の高い『Bolero』のボイス・コーデックは優れた了解度を実現し、RFスペクトルをさらに有効利用できるようにして、他のDECTベースのシステムと同じ音声帯域幅でアンテナが2倍のベルトバックを扱えるようにした。このコーデックは優れた遅延特性を持つと同時に処理パワーを極めて効率的に利用し、ベルトバック・バッテリーの持ち長くし、DSPの処理パワーを他の機能用にセーブすることができる。

■MicroN MultiViewer:RIEDELのマルチメディア・ネットワーク・デバイス『MediorNet MicroN』に専用のマルチビューワー・アプリケーションを追加することで、マルチビューワー機能が利用できるようになる。

SDI4入力4出力、最大4つのスクリーンに最大18分割画面を表示。レイアウトやオーディオ・レベル表示、デジタル/アナログ時計など、画面表示は自由に調整可能。



「LAWO mc²96」



RIEDEL「Bolero」

## MOGAMI LAN CABLE

### モガミ イーサネット ケーブル

敷設-撤収を繰り返す可動的用途専用LANケーブル

PA/屋外使用等、敷設・撤収を繰り返す可動的な用途向けに特別に設計したイーサネットケーブルです。柔軟なため床に平らに引き回せ、通常のフィールドワークに耐える十分な機械的強度があります。特性値はTIA/EIA-568B Category 5eを完全に満足します。

RJ45コネクタとの接続に工夫が要りますので通常は両端にコネクタを付けた形で販売致します。受注時の長さは最大300mまで自由に指定出来ます。不具合発生時の無償修理保証期間は1年ですが、保証期間後も有償でコネクタの取り付けを致します。コネクタ付け替えに際してはその都度先端切り落とし部分の長さが短くなります。

Part No.  
3306

MOGAMI



お問い合わせ エムアイティー株式会社

PHONE: (03)3439-3755

E-MAIL: mit@mogami.com

URL: http://www.mogami.com



## 第2回 関西放送機器展

### 富士フィルム / 緑屋電気 / 武蔵オプティカルシステム

富士フィルム(株)では緑屋電気(株)、武蔵オプティカルシステム(株)と共同ブースにて出展。フジノンレンズ放送用ラインナップの紹介をはじめ、LEDフラットライト、ワイヤレスタリーシステム、マルチパス映像処理機、色管理総合ソフトウェアなど、スタジオ周りの各種製品を紹介した。

ブースにおいては、4K対応の放送用レンズ「UAシリーズ」3機種を発表。3機種とも、画面周辺の解像力低下とあらゆる収差を抑えることで、ズーム全域で4K画質を実現している。

本年のNABショーにおいて発表したレンズ3機種は、小型・軽量なポータブルズームレンズ「FUJINON UA18×5.5」「FUJINON UA14×4.5」と、27倍のスタジオズームレンズ「FUJINON UA27×6.5」であるが、従来からの4K対応の放送用レンズに3機種を加え、全7機種の充実したラインアップで、世界的に拡大する4K映像制作のニーズに応えていく。

また「UA18×5.5」「UA14×4.5」「UA27×6.5」の3機種は、画面周辺の解像力低下とあらゆる収差を抑えることで、ズーム全域で4K画質を実現した放送用ズームレンズであるが、そのうち「UA18×5.5」と「UA14×4.5」は、小型・軽量ボディによる高い機動性を実現したポータブルレンズで、近年の小型・軽量のカメラ「4Kカムコーダー」の登場によ

り、ますます増えることが見込まれる肩担ぎスタイルでの4K撮影で威力を発揮する。

「UA18×5.5」は、5.5mm～100mmの焦点距離を1本でカバーし幅広いシーンの撮影が可能。質量約2.04kgながら、広角5.5mmから望遠100mmまでの焦点距離を1本でカバーし、報道や、各種番組制作のロケなどの機動力が必要とされる撮影現場にも対応する。

「UA14×4.5」は焦点距離4.5mmの超広角レンズであるため臨場感ある撮影ができる。全長約238.5mmの小型ボディで、超広角4.5mmの焦点距離を活かし、スポーツ中継や、各種番組制作のロケなどで奥行きのある臨場感溢れる映像を撮影することが可能である。

「UA27×6.5」は、焦点距離6.5mm～180mmまでの4K対応の27倍ズームレンズで、同社独自の多層コーティング処理「HT-EBC (High Transmittance Electron Beam Coating)」を施し、高い透過率や色再現性を実現。最新の光学シミュレーション技術を活用し光学設計を新たに行い、画面周辺の解像力低下とあらゆる収差を抑えることでズーム全域で4K画質を実現。9枚絞り羽の採用により、円形に近い絞り形状となっている。広角6.5mmから望遠180mmをカバーするが、焦点距離を2倍に延ばすエクステンダー(焦点距離を延ばすレンズ)をレンズ本体に内蔵しており、エクステンダー使用時でも高精細な画質を維持しながら焦点距離を360mmまでカバーする。最大口径径F1.5

の大口径レンズも搭載。また、ズームやフォーカスの位置情報などのレンズデータを高分解能で出力可能な16bitエンコーダーを標準装備している。

また、35mmPLマウントレンズ「ZK3.5×85」、2/3" 4K Plus Premier「UA22×8」「UA13×4.5」なども紹介。

FUJINON 4K Plus Premier シリーズ「UA22×8BE」「UA22×8BE」は、4K光学性能を実現した、2/3" フォーマットに対応した望遠ズームレンズ。

最先端の光学シミュレーション技術を駆使し、22倍の高倍率ズームと解像度や透過性、色再現性に優れた高い光学性能を両立した、4K対応の放送用カメラ用望遠ズームレンズ。広角8mmから望遠176mmまでの焦点距離に対応し、軽量・コンパクトなポータブルタイプのため、スポーツ中継を始め、屋内外での番組制作、報道などの多彩なシチュエーションで抜群の威力を発揮する。



35mmPLマウントレンズ「ZK3.5×85」、2/3" 4K Plus Premier「UA22×8」「UA13×4.5」など紹介



UA18×5.5



UA27×6.5

### ますます多様化するフィールドで応える柔軟さと確実性

#### MTX-0606

6×6オーディオマトリックスミキサー

- デジ/アナ混在6×6オーディオマトリックスミキサー
- AC100V～240V電源とDC+12V電源の併用可能
- W260×D250×H100の省スペースコンパクト設計
- ケーブル1本でカスケード接続(12イン×6アウト)

税抜価格¥850,000



#### MS-822V

3G/HD/SD-SDIオーディオモニターユニット

- エンベデッド音声/デジタル音声/アナログ音声選択モニター

税抜価格¥370,000

#### MB-224

60ポイント24chパラグラフメータユニット

税抜価格¥980,000



#### MS-832

3G/HD/SD-SDIオーディオモニターユニット

- エンベデッド音声/デジタル音声選択モニター

税抜価格¥240,000



株式会社 フォービット  
URL <http://www.fourbit.co.jp>

〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2720  
営業部 TEL: 042-935-0551 (直通) / TEL: 042-934-7720 / FAX: 042-934-5664

## パナソニック

8K/4K 時代に応える新技術と次世代ソリューションを提案。

ブースでは、映画用デジタルシネマカメラ「VARICAM」で採用されているデュアルネイティブISO を継承し、新開発5.7K スーパー35mm センサーを搭載した、EF マウント方式4K60P コンパクト・シネマカメラ「AU-EVA1」を発表。新開発5.7K MOS センサーによる、4K/2K 10ビット4:2:2の高画質。小型軽量（1.2kg）、デタッチャブルハンドル&グリップ、機動性の高い新デザイン。IR カットフィルターON /OFF 機構 コンパクト・シネマカメラ「AU-EVA1」



を搭載し、幻想的なIR シネマトグラフィ撮影を実現するなどの特長をもつ。

また、4K マルチパーパスカメラでは、小型・軽量で多彩な機能を搭載した4K 対応マルチパーパスカメラの新製品「AK-UB300GJ」を展示。スポーツ中継やライブイベント、スタジオ撮影から空撮まで、多彩なシーンで活躍する多目的4K カメラ。撮影シーンに応じた2つの感度モード（高感度モード/標準モード）を選択でき、新開発の霧除去技術や、オプションボード（12G 出力ボード、3G TICO UHD 出力ボード）差し替えによるケーブル1本での伝送など、使いやすさを追求した製品である。フォーカスアシスト機能、4K からのHD クロッピング機能も搭載。さらに、HD-IP ストリーミング出力とIP 制御も行えるため、当社製システムカメラAW シリーズとシステ



「AK-UC3000/UC3000S」(中央)「AK-UB300GJ」(右) ムを一元化することができ、柔軟性・拡張性のある運用を実現している。

そのほかカメラコーナーでは、4K スタジオハンディカメラ「AK-UC3000/UC3000S」や「HDR/SDR ハイブリッド運用」の紹介が行われたほか、ブース内にて新製品「放送番組リアルタイムアーカイバー」の説明も行われた。

## アストロデザイン

4K2K 映像専用のウェブフォームモニター「WM-3206B」をはじめ、4K 対応17型/24型液晶モニター「OBM-U170 /OBM-U240」、4K コンバータボード「SB-4024」などの4K 対応製品のほか、easy MUX「CX-5528A-F」、マルチルートTS スプライサ「CX-5528A-S」などを出品。

■「WM-3206B」:4K2K 映像 (3840×2160、4096×2160) 専用のウェブ



4K コンバータボード、4K ウェブフォームモニターなどの紹介コーナー

フォームモニター。ピクチャー、ウェブ、ベクトル、ヒストグラム、ステータスをモニタに表示する。

■「SB-4024」:4K とHD の入出力に

対応した、解像度変換、フォーマット変換、色域変換が可能なコンバータボードで、2K ⇄ 4K、Rec.709 ⇄ Rec.2020、SDR ⇄ HDR をそれぞれ相互に変換できる。また、3D LUT を使用した色調変換もできる他、WOWOW 社製 WonderLookPro と連動も可能。

■「CX-5528A-F」:素材の中継伝送用に特化したTS マルチプレクサで、従来必要だったTS マルチプレクサへのPAT /PMT の作成・登録が不要になり、使い勝手が大幅に向上した。入力TS のPAT /PMT 構成に自動追従して、マルチプレクサ内部でPAT /PMT およびPID



を再構成することで、各TS 入力の各program を1本のTS にMUX して出力することができる。また、プリセットパターンは最大16個まで登録が可能のため、幅広い用途に対応できる。入出力レートは、最大213Mbps。

■「CX-5528A-S」:各入力TS で指定した1サービスのシームレス切り替えが可能で、プログラム番号やPID が異なる場合でも、シームレス切り替えができる。また、入力TS に以上を検知した場合、安定しているほうのサービスへの自動切替に加え、入力遅延差を吸収するための遅延量の設定も可能。

## neviON Media Gateway to IP

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオのIP 化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。



### Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI 非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...



非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IP コーデック + eMerge 10GBE スイッチ・40 GBE データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントパス構成

### Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI  
AES 67 IP オーディオ



製造元：  
Nevion AS

輸入販売元：  
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp